

2017

JAしまねびより 7

July Vol.16

特集 JALしまね 第3回通常総代会開催

来月の外勤日は **8月19日(土)**



Naomichi
福直

高津川の鮭釣り

第3回

通常総代会特集

J Aしまね第3回通常総代会を6月25日、島根県民会館大ホールで開催。総代会資料から平成28年度事業報告、平成29年度事業計画の基本方針など主な内容についてお知らせします。

2017



議長団 (杉原総代 (左)、栗栖総代)



あいさつする竹下正幸代表理事組合長

総代の皆様へ
当日は、遠方より、或いはご多忙の中、ご出席いただき、心から御礼を申し上げます。
そして、全ての総代の皆様に、統合からの任期中、様々な面でお世話になり、改めて感謝を申し上げます。
今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

当日は、総代定数1,000人(欠員15人)に対し、962人(本人出席579人、委任状13人、書面出席370人)の出席。議長団に、杉原定氏(斐川地区本部)、栗栖卓三氏(いわみ中央地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。
竹下組合長が「JAしまねが発足して3年目を迎えた。一体感を一層強固なものとして、組合員・地域住民から選ばれ、頼られ、必要とされるJAとなれるよう改革を進めていく」とあいさつ。来賓の藤原孝行島根県副知事から、「農業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しているが、JAしまねでは水稲肥料農薬価格の低減や米の買取制度の導入など、積極的に自己改革を実践している。今後も農業者所得の増大のための取り組みを続けていただくことに期待している」との溝口善兵衛島根県知事の言葉をいただきました。
また、JAしまねの発足以来、組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。



平成28年度 事業報告

平成28年度は、安倍内閣のもとデフレ脱却の兆しは見えつつあるものの、経済成長率は依然として低迷状態にあり、設備投資や個人消費等の改善には鈍さも見られるほか、マイナス金利の影響もあり、先行きの景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では英国が国民投票によりEU離脱を決定し、米国では政策運営能力が未知数とされるトランプ政権が発足するなど、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、平成28年12月の臨時国会においてTPP承認案及び関連法案が可決・成立したものの、米国トランプ大統領の就任により現政権でのTPP発効は難しい状況となっています。今後、FTA（日米自由貿易協定）交渉や、EPA（日EU経済連携協定）交渉の動向も注視し、日本の「食」「農」「協同組合」の重要性をアピールする運動を引き続き展開していく必要があります。

組織情勢では、平成28年4月に新農協法・政省令・監督指針が施行されました。また、農協法附則において、政府は准組合員の事業利用規制の在り方について、5年間、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用の状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、

検討を加え結論を得ることとしています。

JA自己改革については、農協法5年後検討事項をふまえ、JA全国大会決議である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として取り組んできましたが、大会実践期間である平成31年3月までに着実に実践し、十分な成果を上げ、組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成28年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」初年度として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,259百万円、購買品供給高が34,092百万円、貯金残高が994,007百万円、貸出金残高が308,072百万円、長期共済保有高3,659,406百万円となりました。

財務状況については、内部留保に努め、自己資本比率は15.21%となりました。

収支面については、事業利益が1,050百万円、経常利益は2,014百万円となり、当期剰余金は1,295百万円となりました。主な事業活動と成果の詳細については次ページのとおりです。

■貯金残高…………… **994,007**百万円
 ■貸出金残高…………… **308,072**百万円
 ■長期共済保有高…………… **3,659,406**百万円

自己資本比率 **15.21%**

■事業利益…………… **1,050**百万円
 ■経常利益…………… **2,014**百万円
 ■当期剰余金…………… **1,295**百万円



組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	個人	66,407	918	2,460	64,865
	法人				
	農事組合法人	193	6	3	196
	その他法人	191	14	2	203
計		66,791	938	2,465	65,264
准組合員	個人	164,553	4,207	3,276	165,484
	農業協同組合	1	0	1	0
	農事組合法人	24	1	1	24
	その他の団体	1,889	26	26	1,889
	計	166,467	4,234	3,304	167,397
合計		233,258	5,172	5,769	232,661

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	個人	17,180,472	319,811	625,227	16,875,056
	法人				
	農事組合法人	25,872	362	506	25,728
	その他法人	31,765	3,879	2,309	33,335
計		17,238,109	324,052	628,042	16,934,119
准組合員	個人	5,569,760	307,335	238,378	5,638,717
	農業協同組合	3,650	0	3,650	0
	農事組合法人	1,785	11	80	1,716
	その他の団体	91,987	4,051	839	95,199
	計	5,667,182	311,397	242,947	5,735,632
処分未済持分		157,964	128,177	157,964	128,177
合計		23,063,255	763,626	1,028,953	22,797,928

適要：(1)出資一口金額

1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,797,928,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成27年度	平成28年度
財務	事業利益	917	1,050
	経常利益	1,878	2,014
	当期剰余金	1,266	1,295
	総資産	1,091,408	1,104,465
	純資産	78,907	77,982
信用事業	貯金	978,185	994,007
	預金	480,794	498,551
	貸出金	307,875	308,072
	有価証券	178,968	171,289
	国債	89,969	82,394
	その他	88,998	88,894
共済事業	長期共済保有高	3,779,540	3,659,406
	短期共済新契約掛金	10,227	10,267
購買事業	購買品供給高	35,004	34,092
販売事業	販売品販売高・取扱高	36,512	38,259

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第3事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,040,764,952
2. 剰余金処分額	1,551,763,041
(1)利益準備金	260,000,000
(2)任意積立金	952,000,000
農業振興積立金	150,000,000
農業災害積立金	100,000,000
米価格変動積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	50,000,000
信用事業システム開発積立金	50,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	152,000,000
施設等更新積立金	50,000,000
(3)出資配当金	339,763,041
3. 次期繰越剰余金	489,001,911

(注1) 出資配当金は年1.5%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額64,757千円が含まれています。

主な事業活動と成果

【農業振興】

JAしまね農業振興支援事業において平成28年度から新たに「魅力ある産地づくり支援事業」を新設し、「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の重点事項である園芸推進5品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援、島根デラウェア改植促進支援をメニュー化し、農業生産額の拡大、農業所得の増大に取り組みました（支援額5億8百万円）。

【販売事業】

<米 穀>

米穀は平成28年度の島根県における水稻の作況指数が104（前年98）となり、主食用予想収穫量は91,300トﾝで前年比3,300トﾝの増加となりました。また、28年産米から島根米の買取制度を導入し、集荷数量は平成29年3月末現在で40,572トﾝとなり、前年を上回る結果となりました。



アグリミーティング2016

<園 芸>

島根ぶどうが共販60周年を迎え、販売面で積極的に推進した結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。



<畜 産>

品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組むとともに、JAしまね農業振興事業により繁殖雌牛増頭運動の実施や販売強化に努め、平成28年度の子牛市場上場頭数が5,231頭（前年対比100.2%）となり、4年ぶりに前年を上回る結果となりました。



【資 材】

肥料・農薬・飼料について、水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めました。

【信 用】

島根県産農畜産物プレゼントキャンペーンを実施し、貯蓄推進に併せ農畜産物消費拡大に取り組むとともに、貸出金では認定農業者支援資金により農業担い手支援を行いました。

【共 済】

契約者へのフォロー活動や、JAしまねこども倶楽部を通じた次世代対策を通して、地域への安心満足の提供と信頼の獲得に取り組みました。

【くらしの活動】

豊かでくらしやすい地域社会の実現のため、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育（アグリキッズ）などを通じた「生きがい、ふれあいづくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。これらの活動が評価され、平成29年2月に「第67回家の光文化賞」を受賞することができました。



あぐりスクールでの牧場体験



JA女子大学



家の光大会

平成29年度 事業方針

農業振興

方針

平成28年6月に開催した第2回通常総代会で決議された「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた農業振興に係る具体的な行動計画や数値目標に沿って、JA役員と組合員が一体となって取り組みを進めます。

計画達成に向け、営農指導体制の強化や担い手支援体制の確立、JA独自の農業振興支援事業による生産基盤強化等をJAとして行うことに合わせ、県や市町村と連携した地域農業の振興により、産地活性化と農家の手取り最大化の実現に努めます。

特に、平成30年産からの農政改革に向けて、島根県産米の生産方針について県再生協議会を中心に、県、市町村、地域再生協議会と連携し、農家所得の向上につながる米生産計画、新規需要米による生産調整等をJAも一体的に進めます。

また、島根農業の中心的な担い手である特定農業法人、集落営農、大型担い手農家等への農地集積による効率的農業の普及と会計支援システムの更新を図り、記帳代行やデータ提供による組合員の利便性向上と経営分析による経営の安定化に努めます。

継続性のある水田営農の実現に取り

組むとともに、園芸5品目と和牛繁殖産地再生による複合的な営農形態を通じた農家所得向上を重点的に取り組みます。

重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ② 営農指導体制整備
- ③ 担い手支援
- ④ 農業経営管理支援
- ⑤ 労災保険加入支援
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業

全般

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指して、女性組織、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員の多様なニーズについて、アンケート調査等を通じて把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動の質の向上と参加

者の満足度の向上に努めます。

販売事業

しまねブランド商品として県産農畜産物の販売力強化に向けて取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実にも努めます。

信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡

大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

また、マイナス金利政策導入により信用事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら本店・地区本部が一体となって事業戦略を展開し、JA信用事業基盤の維持・拡大に取り組みます。

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② 信用事業の効率化
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

共済事業

組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組みながら、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

JAしまねの発足以来、役員として組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力され、新生JAの礎を築かれた退任役員の方々の功績を讃え、功労者表彰を行いました。



功労者を代表して
あいさつする萬代宣雄氏

当日出席された功労者の方々
(左から萬代宣雄氏、堀川栄市氏、米原稔氏、周藤昌夫氏、橋本正嗣氏、佐々木勘次氏、長岡昌利氏、足立幹男氏、築橋良治氏)

功 労 者 表 彰 名 簿

平成28年6月退任の皆様

在任時の役職

選出地区等

田中彰	服部千津子	岡崎時明	築橋良治	中島一	武田俊吉	石飛正登	足立幹男	長岡昌利	長崎勉	杉谷英夫	長廻勤	松浦嘉昭	佐々木勘次	戸谷宣義	橋本正嗣	周藤昌夫	米原稔	堀川栄市	萩尾秋光	内田孝志	玄行政美	萬代宣雄	
監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表理事組合長
本店(女性協)	西いわみ	島根おち	斐川	出雲	出雲	出雲	出雲	雲南	雲南	くびき	くびき	いわみ中央	くびき	西いわみ	斐川	出雲	隠岐どうぜん	隠岐	雲南	本店	出雲		

雲南

空き店舗活用 地域住民の憩いの場

雲南市三刀屋町中野地区にある中野の里づくり委員会(深石広正会長)による直売所「笑(え)んがわ市(三浦由美子代表)」が6月8日に6周年を迎え、約70人が訪れました。売店の横にはサロンが併設されており、地元スタッフや利用者から持ち込まれた手料理や、コーヒーなどが200円で振舞われます。毎週木曜日に営業しており、地域住民の憩いの場となっています。

2010年10月に中野地区唯一の商店だった、旧JA雲南中野店舗が閉店。地元の女性活動グループが、JAの空き店舗を利用して地元の野菜や特産のこんにゃくを取り扱えないか提案し、同委員会や中野地区のJA女性部、地元有志が集まり、産直市運営を企画しました。

三浦代表は「スタッフを含めた全員が楽しんでいるからこそ、続けられています。この雰囲気を大切にしたいです」と話しました。



賑わいを見せるサロン

くにびき

宍道支店で年金感謝デーに トラック市が開催！

くにびき地区本部宍道支店とくにびき産直出荷者協議会宍道支部は、6月15日の年金感謝デーにあわせて、軽トラックの荷台で野菜や果物を販売する「トラック市」を同支店前で開きました。夏野菜や加工食品を販売し、来店客は思い思いに買い物を楽しみました。



来店客が増える年金感謝デーに、地元農産物のPRに繋がってもらおうと、昨年から隔月で開催。野菜の販売以外にも、くにびき女性部宍道支部の部員が支店内にカフェを設けて、来店客をもてなします。

当日は、同協議会宍道支部の会員7名がナスやトマト、加工食品を持ち寄り、トラックの荷台に陳列。開店と同時に多くの人を訪れ、1時間もかからずに商品が売り切れました。また、特設カフェではリンゴジュースとショウガで作った「リンゴショウガかん」(家の光2月号参照)と抹茶を振る舞い、訪れた客は「お茶がおいしかった」と満足そうでした。同



支部の杉井キミエ部長は「多くの人に喜んでもらえて嬉しい。今後もいろいろなもてなしを考えたい」と話しました。

隠岐

島外視察研修で 椎茸栽培技術の向上を図る

隠岐農産物生産者協議会の椎茸部会は6月14日～15日の2日間、椎茸栽培技術の向上などを目的として島外視察研修会を行い、会員やJA職員など12人が参加しました。

研修初日には、鳥取市にある「日本きのこセンター」が運営管理している椎茸ほだ場を、同センターの場長と所長の説明を受けながら視察しました。会員らは、椎茸栽培の方法についてなど活発に質問していました。その後、JA全農主催の生産者交流会に出席し、椎茸生産の楽しさや厳しさについて意見を交わしました。

2日目には、鳥取県の県民体育館で開催されたJA全農主催の乾椎茸品評会に参加しました。同部会の会員も出品しており、「こうしん中葉中肉の部」で宇野武夫さんが全農理事長賞を受賞しました。品評会には全国から高品質の乾椎茸が多数出品されており、今後の椎茸栽培の参考となりました。



椎茸ほだ場で説明を受ける参加者

やすぎ

いもイモ★大作戦今年も好評

やすぎ地区本部が安来市穂日島町の中海干拓地で食育と地産地消の推進を図ることを目的に毎年開催している、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」が今年も好評です。

6月4日に市内外から40家族、約130人が参加し、JAの営農指導員から説明を受けながら一区画10本の「べにはるか」の苗を定植していきました。今年によりサツマイモについて知ってもらおうと、栽培管理の他、品種の特徴や苗の説明などを詳しく掲載したサツマイモ栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

親子で参加した女性は「去年は収穫だけだったが、子どもが楽しんでいたのが今年は定植から挑戦した。秋の収穫が楽しみ」と話しました。今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、秋には収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



斐川

ぶどう集荷所開所式を開催

斐川町ぶどう生産組合は6月9日、出雲市斐川町の中央集荷所で29年産の斐川ぶどうの集荷所開所式を行いました。29年産は昨年より早い出荷開始となり、品質も良いものとなっています。

同生産組合の矢野恵司組合長は「難しい天候の中、質の良いぶどうが出荷できた。梅雨に入り、これからはより雨との戦いとなる。今年は斐川ぶどう共同販売60周年を迎える年であり、体に気をつけて農家の方々が笑顔で良かったと言える年にしたい」と挨拶しました。

また、斐川町のぶどうをPRしてもらうため、出雲市役所斐川支所の青木昭支所長と斐川地区本部の山根善治本部長へ斐川産デラウェアを贈りました。



斐川産ぶどうを受け取る青木支所長(左)と山根本部長(左から2人目)

隠岐 どうぜん

保育園児が田植えの見学会

隠岐どうぜん地区本部の海士支店では6月12日、保育園児を対象とした田植えの見学会を行い、海士町のけいしょう保育園の年長組19人が参加しました。

この見学会は、次代を担う子どもたちに食の大切さなどについて学んでもらう食農教育の一環として毎年実施しており、4月の種まきの見学に続いて、今回は田植えの見学を行いました。

当日は天候に恵まれ、営農指導員の本多安則職員から田植え作業について説明を受けた後、同職員が所有する圃場で乗用田植機による実際の田植えの様子を見学しました。子どもたちは田植え作業よりも田植機に興味津々の様子で、田植機についてのいろいろな質問をしていました。

秋には稲刈りと籾摺りの見学会も予定しています。



田植の様子に興味深く見つめる園児たち

石見銀山

あぐりスクール生き物調査

石見銀山地区本部は6月17日、今期2回目の「あぐりスクール」を開きました。11家族27人が参加し、前回植えた野菜や米の生育状況を観察した後、農事組合法人やまべの水田で生き物調査をしました。当日はドローンを使った空撮をしました。動画は同地区本部農産課のフェイスブックに掲載する予定です。

網とバケツを手手に田んぼに入り、カエルやイモリ、ミズカマキリなど約20種類の生き物を捕まえ、班ごとに発表しました。参加者は「いっぱい生き物を見つけられて楽しかった」「見つけるのが難しかった」「田んぼの中がぬるぬるだった」など感想を話しました。

生き物調査を終えると、JAしまね石見銀山女性部大代支部が用意したエコロジー米のおにぎり、大田産の具材を使った豚汁を味わいました。



生き物調査をする参加者

出雲

出雲コーチン利用促進協議会設立 地鶏のブランド化を目指して

絶滅の危機に瀕している地元の鶏「出雲コーチン」を保存し、ブランド化を図るため、出雲コーチン利用促進協議会が設立されました。島根県畜産技術センターで6月15日、設立総会が開かれ、JA、行政機関、島根県立出雲農林高校、畜産農家ら30人が出席しました。

「出雲コーチン」は、大正から昭和にかけて出雲地方を中心に飼育されていましたが、その後飼育数は減り、一時は数羽にまで減少。農林高校の生徒がこの状況を知り、研究課題として増殖への取り組みを開始しました。そこに地鶏の生産販売に意欲的な市内の畜産農家加わり「出雲コーチン」復活に向けた活動が始まりました。平成28年7月に畜産技術センター、農林高校、畜産農家、JAで第1回出雲コーチン利用促進打合せ会議が開かれ、その段階で確認できた「出雲コーチン」は17羽。順調に飼育され、現在は120羽以上に拡大しています。

平成29年度は、原種の維持・利用のルール化の検討や、地鶏生産のための交配種選定などに取り組む計画です。産官学連携で、「出雲コーチン」を軸としたブランドの確立を目指します。



畜産技術センターふれあい動物広場の出雲コーチン

西いわみ

益田市長へ シャインマスカットを贈呈

西いわみ地区本部ぶどう部会（部会長福原博）は6月5日、益田市役所を訪れ益田市のPRに役立ててほしいと山本浩章市長にシャインマスカットを贈呈しました。

同部会の福原博部会長、同部会青年部の岩崎崇司部長、西いわみ地区本部の田村清己本部長が益田市長と面会し、超早期加温栽培を行ったシャインマスカットを手渡しました。

シャインマスカットを試食した山本市長は「口の中でシャインマスカットの香りが広がってとてもおいしいですね」と感想を話しました。

全国では長野県、山梨県、岡山県に次いで、5月25日に初出荷が行われ、また5月の出荷は島根県が2006年にシャインマスカットを導入以降初めての事となりました。



山本市長（左）にシャインマスカットを手渡す福原部会長

本店

アグリレディース大学を開催

JALまね女性部は6月6日～8日の3日間、「第11回アグリレディース大学」を開催し、県内各地から女性部員など29人が参加しました。

この企画は、女性部員が地域や世代を超えて交流・情報交換することにより仲間意識の輪を広げて親睦を深めるとともに、見識を広め女性部活動の活性化を図ることを目的に2年に1回開催しています。

11回目となる今年度は九州を視察先に選び、熊本地震被災地を訪れて震災への備えや復興支援について学ぶとともに、防災に対する意識を高め、万一のための女性組織活動をすすめる契機としました。

JALまね女性部は今年4月に県単一組織として発足しました。今後も様々な活動を通して仲間づくりの輪を広げ、女性部の活動の基本である「食と農を基軸とした活動」などの充実をはかっていくとしています。



被災した熊本県の藤本牧場で藤本亨大代表取締役（左）から説明を聞く女性部員

島根おおち

スーパー「スパーク」 役職員が管内産地を視察

島根おおち地区本部米穀農産課は、6月27日、広島市内のスーパー「スパーク」の役職員6人を招き、出荷している野菜について理解と関心を持ってもらうため管内の農地を視察案内しました。

「スパーク」とは、野菜の出荷をはじめ、11月から約1ヶ月間で管内産のもち米の宣伝のため職員数人が交代で店舗前で杵つきもちの実演販売を行うなど30年以上前から交流しています。

視察したのは、出羽地区にあるミニトマト農家や高原地区にある農事組合法人星ヶ丘の中ナス、白ネギの圃場と島根おおち地区本部の野菜の集荷場、米倉庫、牛舎といった施設などです。

スパークの役職員は「産地を実際に見ることが出来て非常によかった。直接農家と情報交換し、生育を確認することができ、大変勉強になった」と話されました。



いわみ中央

かわピコまつり盛大に開催！

江津市後地町の道の駅「サンピコどうつ」で6月17日～18日の2日間、「かわピコまつり」が開催されました。「サンピコ」は海彦（うみピコ）、山彦（やまピコ）、川彦（かわピコ）の三人に由来しており、それぞれ海の幸、山の幸、川の幸を象徴しています。この祭りではその名のとおり、清流「江の川」の幸である若鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き、川魚の天ぷらなどの販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

また、18日には、同道の駅内の産直市場のレジ通過者が100万人を突破し、100万人目となった江津市江津町の主婦中谷葵さんに記念品が送られました。いわみ中央地区本部からは井上宗治本部長が「石見白いるかの舞（コシヒカリ10kg）」を記念品として贈呈しました。

中谷さんは、若鮎のつかみ取りを楽しみにご主人と長男とともに訪れていて、「山口県岩国市から転居して6月1日に江津市民になったばかりで感激しています。産直市場は野菜も魚介も新鮮で安心できるので、今後も利用したいです」と喜んでいました。



井上本部長（右）から記念品を受け取る中谷さん家族

「しまね夏の花」品評会開催

とき

平成29年

7/29日・30日

29日(土)

一般展示 9:00~16:00
表彰式 9:30~10:00

30日(日)

一般展示 9:00~15:00
※展示の即売も行います。

ところ

ゆめタウン出雲 東館太陽の広場 (出雲市大塚町650-1)

「私たちが選んだ花」賞を決定!!

ご来場の際、一番良いと思われた花に投票してください。

一番多かった作品に投票された方の中から抽選で粗品をプレゼント!!

無料で
体験!!

親子フラワーアレンジメント教室開催!!

親子で島根の花を中心にしたフラワーアレンジに挑戦してみませんか?

(公) 日本フラワーデザイナー協会島根県支部が講師!

作った作品とともに「しまねっこ」と記念撮影!

※「しまねっこ」の来場は7月30日回のみです。

両日、午前・午後各1回
各10組まで

主催: 島根県農業協同組合・島根県花き生産者協議会

後援: 島根県・島根の花振興協議会・ゆめタウン出雲・しまね花商組合・JAアグリ島根

■この件に関するお問合せは JALしまね 米穀園芸部園芸課 TEL:0853-25-8694

農林大オープンキャンパス 「緑の学園」参加者募集

見て触れて農林大の風・土・緑を感じませんか!

7/28(金)・8/2(水)・6(日)・21(月)

大田市と飯南町の両キャンパスで開催



- 農林大学校では学生募集の一環として、高校生をはじめ、本校の学習・研修に興味を持っている方を対象に、オープンキャンパス「緑の学園」を開催します。
- 体験実習は、有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛・林業コースがあります。
- 各実施日の7日前までに申し込みが必要です。
- 詳しくは農林大学校のホームページ、または島根県立農林大学校 (TEL0854・85・7012) まで。

組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を受け付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1

Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp

部署名 監査部

受付 監事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受け付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。



秋から春先まで、 新鮮な味と 栄養価が魅力的な ブロッコリー

板木技術士事務所 ● 板木利隆

抗がん作用が高いと注目される野菜です。カロテンとビタミンCが豊富で、免疫力アップや抗ストレス効果も。カリウム、鉄、クロムなどのミネラルも含まれています。

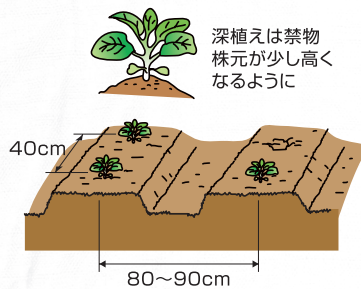
家庭菜園で秋から早春まで長く取り続けるには、品種選びが大切です。頂花蕾（ちょうからい）だけでなく、側花蕾（そくからい）も取れる「頂花蕾側花蕾兼用」品種がおすすめです。

種まきの適期は7月中旬です。育苗期は高温期に当たりますが、秋の生育適温下で最大成長するので育てやすいのです。頂花蕾は10月下旬、側花蕾は10月下旬から3月ころまで長期間収穫できます。

育苗は128穴のセルトレイ、少ない本数で良ければ3号ポリ鉢に3~4粒まきとし、育つにつれて逐次間引きし、1本立てにします。

セル育苗では本葉3~4枚、鉢育苗ではやや大きく本葉5枚ぐらいの苗に仕上げ、本畑に植え付けます。育苗期間は暑い盛りなので、苗はできるだけ風通しの良い、涼しい場所を選び、強光時にはよせず、遮光ネットなどで覆い、灌水（かんすい）は朝夕にたっぷり与えるなど、常に目配りし、入念に管理しましょう。

保水力のある有機質に富む土壌を好むので、植え付ける畑には少なくとも半月ぐらい前に、植え畝の中央部に、くわ幅10~12cmの溝を掘り、良質の堆肥と油かす、化成肥料を長さ1m当たり堆肥5~7握り、油かす大さじ7杯、化成肥料同5杯ぐらいを施します。成長が盛んになったら月2回ぐらい、化成肥料を1株当たり大さじ1杯ぐらい追肥します。頂花蕾を収穫したときには多めに追肥し、側花蕾の発達を促します。



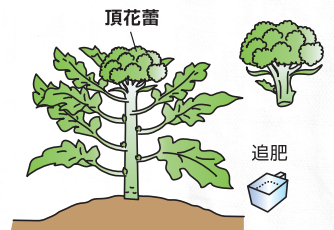
根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので、株元が低くならないよう、特に多雨後の排水に注意してください。

茎の太さの割に草丈が高くなるので、風当りの強い所では小支柱を立てて転倒を防止しましょう。

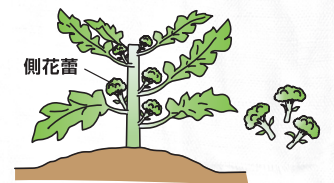
頂花蕾は径12~13cmぐらいで収穫します。茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減

るので、短く切り取ります。側花蕾は大きくはなりません。径4~5cmほどで収穫します。いずれも蕾（つぼみ）が大きく膨らむと品質を損ねますので、緑が濃く花蕾が締まっているうちに収穫します。

アブラナ科の野菜は、苗のうちからアブラムシ、コナガ、アオムシや黒斑病、軟腐病などにやられるので、早期に発見、適農薬を散布して防ぎましょう。



株の周りに追肥して勢いをつけ、良い側花蕾を出させる



小さいがまとめて使えば味に遜色はない

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

タテのカギ

- ②小玉や種なし、四角い物などもある果実
- ⑤縁も——もない人に助けられた
- ⑦117に電話をかけると聞けます
- ⑨ロシアの酒の代表格
- ⑪ワインボトルの底に沈んでいることも
- ⑫オランダゼリともいう葉野菜
- ⑬木などにぼっかりと開いた空洞
- ⑯国語、算数、理科、社会など
- ⑰コンニャクイモの生産量日本一の県
- ⑲目上の人に勧める席
- ⑳アンデス、プリンスといえ

ヨコのカギ

- ①もくもくと高く盛り上がる雲
- ②洋風の上履きの一つ
- ③食事作りや掃除、洗濯など
- ④武田信玄から連想される四字熟語
- ⑥目や鼻や口があります
- ⑧酔うと赤くなる人も
- ⑩古い地層から恐竜の——が見つかった
- ⑬和風の宿泊施設です
- ⑮——より証拠
- ⑰日本列島をぐるりと取り囲んでいます
- ⑲歩き過ぎて足の裏にできちゃった

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	9		14	18	
			B			
	6			15		D
2			12		19	21
		10		16		
			C			
3	7		13		20	
	8	11		17		
4						E

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
平成29年8月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「カブトムシ」

ユ	カ	タ	ミ	ア	イ
ウ	カ	ウ	ツ	シ	エ
シ	オ	ド	キ	タ	イ
ヨ	ア	ブ	ラ	ニ	
ク	ラ	ク	チ	バ	シ
ム	シ	ロ	ソ	ヤ	
キ	ネ	ン	ボ	ト	

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

水中ウォーキングで夏だって気軽に運動

日々、暑さと戦う季節になりましたね。暑さをアイスクリームや冷えたビールなどでごまかしてみても、気の紛れるのはその一瞬だけ。冷房の効いた部屋の中でついついゴロゴロして夏太り……。ここは一気に夏バテと暑さの両方を解消しちゃいましょう。涼しくなって、健康になる。おまけにシェイプアップも出来ちゃうかも!?

こんなおいしい話というのは行水と健康づくりを兼ねた水中運動をすることです。中でも泳ぐのは苦手という方も気軽にできる水中ウォーキングはいかがですか？

水中ウォーキングは、地上でのウォーキングに比べ水の浮力のおかげで体重が最大70%も軽くなると言われており、膝や腰への負担が大きく軽減されます。さらに、水の抵抗がかかるために普通に歩くよりも消費カロリーが多くなるのも嬉しいところ！

水中ウォーキングでの注意点は、水の抵抗を受けるために、上半身が反り返りやすくなること。これを防ぐには腹筋を締めて上半身をやや前傾にして歩くようにしましょう。そして、下半身は膝を少し曲げて重心を落とし、足裏全体で水底をつかむように踏ん張って歩きます。腕もクロールのように前から後ろへ水をかくことで前方へ進みやすくなります。水底は滑りやすいのでスリッパに注意してください。

また、水中運動の場合でも、運動量が多いときは体温が上昇し発汗しています。水分不足にならないように水分補給を心がけてください。

楽しく続けるためには、最初はやや楽に感じる、物足りない程度からスタートし、徐々に時間を伸ばしていくことが大切です。暑いこの季節には、水中が気持ちよくついつい時間が長くなったり、浮力で楽に歩けるので歩き過ぎになつたりと、過疲労にならないことがあるので、少しずつ自分の体と相談をしながらはじめましょう。水中ウォーキングで暑さを紛らわし、暑さに負けない体作りをしてみませんか？





出雲地区本部ブロック別総代説明会の開催について

JALまね第3回通常総代会の開催に先立ち、出雲地区本部では6月11日から、5ブロック5会場でブロック別総代説明会を開催いたしました。

石川本部長より、平成28年度を好決算で終えることができたことについて組合員の皆様に御礼を申し上げるとともに、正組合員加入促進の取り組み、農家所得の向上・農業生産の拡大に向けたJA自己改革の取り組みについて、JALまね一丸となって向かっていく旨、挨拶いたしました。竹下組合長ほか本店役職員も出席し、平成28年度決算報告、平成29年度事業計画等について説明、質疑応答が行われました。

平成28年度JALまね出雲地区本部の事業実績、平成29年度JALまね出雲地区本部事業方針は以下の通りです。

平成28年度 JALまね出雲地区本部事業実績

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
事業総利益	8,416,885	事業利益	658,592
信用事業総利益	2,940,470	事業外収益	509,401
共済事業総利益	1,612,236	事業外費用	171,049
購買事業総利益	2,871,133	経常利益	996,944
販売事業総利益	331,043	特別利益	96,928
保管事業総利益	8,992	特別損失	185,330
加工事業総利益	25,468	税引前当期利益	908,543
利用事業総利益	650,809	法人税等合計	134,064
宅地等供給事業総利益	10,287	当期剰余金	774,478
その他事業総利益	16,553		
指導事業収支差額	△50,108		
事業管理費	7,758,293		

※本店配賦を含む。

平成29年度 出雲地区本部事業方針

1. 営農指導・販売事業

- (1)多様な担い手の育成、支援による農業振興
- (2)地域の農畜産物振興と販売促進による農業所得の向上
- (3)「売れるものづくり」の実践と出雲ブランドの確立
- (4)指導、支援体制の確立
- (5)集荷体制の見直し
- (6)通年型生産施設整備の検討

2. 生産購買事業

- (1)生産資材等の安価・安定供給

3. 高齢者福祉・生活指導・組織広報活動

- (1)組合員組織活動の支援および高齢者福祉活動の強化
- (2)「JAくらしの活動」の推進、支援および組合員の健康管理活動の推進
- (3)教育文化活動および情報提供活動の充実

4. 生活購買事業

- 店舗事業(ラビタ)
 - (1)組合員の暮らしの中心となるような、機能的で魅力あふれる店舗展開
 - (2)食の「安全・安心・新鮮」を第一とした、JAの強みを生かした地場商品の拡販強化
 - (3)人材マネジメントの強化による経営基盤拡充とサービス向上
- 葬祭事業
 - (1)会館施設の効率運営と職員の業務スキル、認知度の更なる向上

○旅行事業

- (1)利用者ニーズに適した旅行企画と積極的な提案活動の強化

○LPガス事業

- (1)LPガスレンタル機器の普及やガス機器の販売強化

○石油事業

- (1)燃料油の安定供給と業務スキル向上による販売力の強化

○自動車事業

- (1)自動車販売促進と新規車検獲得のための営業体制強化

5. 信用事業

- (1)農業メインバンク機能の強化
- (2)生活メインバンク機能の強化
- (3)利用者保護
- (4)事業基盤の整備

6. 共済事業

- (1)普及基盤(次世代対策)の強化と推進活動の質的充実
- (2)共済事務の高位平準化とコンプライアンス態勢強化
- (3)自動車事故における自動車共済利用者総合満足度の向上

7. 経営・財務・労務管理

- (1)組織基盤拡充とJA利用、参画の促進
- (2)経営リスク管理の取り組みによる組合員、利用者からの信頼性確保
- (3)組合員、利用者の期待に応えるJAであり続けるための経営体制の構築



JAと一緒に 働きませんか？

職 種
支店窓口職員 (定期職員)

採用予定者数

若干名

勤 務 時 間

 月～金(祝日を除く) 8:30～17:00
(第3金曜日19:00まで、第3土曜日 出勤日)

勤 務 地

出雲地区本部管内の支店

給 与

130,000円より (経験等考慮)

資 格

概ね40歳までの男・女


問い合わせ先

☎ (0853)21-6012

採用担当

矢倉、清水



出雲地区本部理事会報告

6月19日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

- (1)北部カントリーエレベーター初摺機等関連機器の更新について
- (2)子会社の平成29年度事業方針について
- (3)大口貸出先の承認について

〈報告事項〉

- (1)平成29年度 米集荷拡大運動について
「販売を起点としたものづくり」を主眼に置き、消費者、実需者から求められる米作りを進めるため、1.9mmふるい目導入による品質向上、また、全量買取による有利販売を進めるため、販売先との収穫前契約を行い、生産者の所得向上と安全・安心な「いずも米」の販売拡大を進めます。
平成29年度米集荷目標数量
6,900t(230,000袋)加工用米を含む
- (2)平成29年度組合員大会について
7月4日(火)から8月8日(火)の間、各地区で組合員大会を開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。詳しい日程等については、各支店までお問い合わせください。

(3)出雲市農政会議役員改選について

(4)年金受給者の集い開催について

10月18日、19日の2日間 JAしまね統合3年謝恩企画として「小林幸子コンサート」を企画しました。

〈対象者〉

- (1)当JA出雲地区本部で既に年金振込口座を指定いただいている方
- (2)当JA出雲地区本部に新たに年金振込口座を指定いただいた方
- (5)平成28年度員外利用率について
- (6)平成29年5月末事業実績について
- (7)子会社および関連会社(法人)の決算報告について
- (8)平成29年度日本農業新聞購読普及運動要領について

日本農業新聞は、組合員農家と農業の利益を守る世論づくりを目指すとともに、農業に関わる各分野の幅広い情報を報道するJAの総合機関紙・農業専門誌です。是非この機会にご購読をお願いします。

7月



安全・安心届けます
出雲で採れるうまいもん

「牛乳」

1000ml

農協牛乳

種類別 牛乳

生乳100%使用

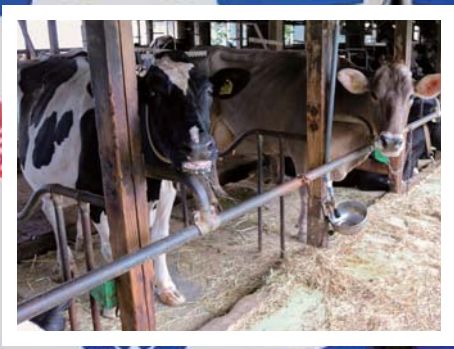


1000ml

農協牛乳

種類別 牛乳

生乳100%使用



生産者インタビュー



JASまね出雲酪農部会
川上 哲也さん

今月は佐田町で「ホルスタイン」を70頭（経産牛45頭、育成牛25頭）飼育する、JASまね出雲酪農部会の川上哲也さんにお話を伺いました！川上さんの牧場は酪農教育ファームの認証を受け、安全面や衛生面などの基準を満たした環境で食農教育に取り組まれています。また、川上さんは酪農後継者会の会長も務め、これからの酪農を担う人たちのまとめ役もされています。

酪農を始められたきっかけは何ですか？

実家は非農家のサラリーマン家庭でしたが、動物が好きで、酪農家になりたいという思いは昔からありました。地元鳥取県の農業大学校を卒業し、酪農ヘルパーとして2年間ほど勤務。その後結婚を機に、妻の実家で後継者として就農しました。

日々の仕事をされていますか？

毎日の仕事は、朝と夕方の乳搾りと、えさやり、糞掃除などです。生き物相手ですので、1日も欠かすことのできない仕事ですが、酪農ヘルパーを利用し、月2回は休みを取り、家族との時間を持つようにしています。酪農ヘルパーは、酪農家が休みをとる時に代わってえさやりや搾乳などの仕事をしてくれる人です。出雲は制度がしっかりしているので助

かっています。そのほか、家畜人工授精師として、委託を受けて他の農家で人工授精を行う仕事もしています。

酪農体験にも力を入れておられますね。

近隣の保育園からはよく牛舎の見学に来られますし、こちらから保育園に行くお話することもあります。牛乳の素晴らしさを伝え、みんなに牛乳を飲んでもらいたいと思っています。また、酪農をするにあたっては、近隣住民の皆さんの理解が必要不可欠です。子どもたちに酪農の良さを知ってもらうことで、地域全体の理解に繋がっていきたいです。

職場体験として、中学生や農林高校生の受け入れもしています。厳しさ、大変さも体験してもらわなければいけません。私はずりやが、楽しさを感じながら酪農をしているので、それが伝われば嬉しいですね。

今、挑戦されていることを教えてください。

興味を持って力を入れていることの一つに、牛の改良があります。病気になるにくい、乳質が良いなどの特徴を持った牛を親にし、それを引き継いだ牛が産まれるよう工夫することで、作業の効率化、収益性の向上を図っています。経営を突き詰めるのは生活のために必要なことですが、勉強し、試行錯誤したことが実績に繋がるのは楽しみでもあります。また、酪農後継者会の会長もしており、勉強会をしたり、視察に行ったりと若い者同士で交流を図っています。これからの酪農を担う皆さんというふうにことに挑戦していきたいです。

最後に「牛乳」のPRをお願いします。

良質な牛乳をお届けできるように努めています。地元の皆さんには、ぜひ地元の安全・安心で新鮮なおいしい牛乳を飲んでいただきたいです！



牛乳の栄養

牛乳は日本人に不足しがちなカルシウムの補給に最適です。コップ1杯で、成人の1日のカルシウム必要量の1/3を摂取することができます。カルシウムは吸収されにくい栄養素とされていますが、牛乳のカルシウムは、効率よく吸収されます。

また、牛乳は、体内で合成できない必須アミノ酸を含む良質なタンパク質をはじめ、糖質、脂質という三大栄養素はもとより、体の調整には欠かせないビタミン類、カルシウム、リンなどのミネラルといった、多くの栄養素をバランスよく含んでいます。

摂取されたカルシウムは、体を動かさないとすると骨には沈着せず、そのまま尿により排出されてしまいます。体に刺激を与え、骨の新生を促す必要がありますので、適度な運動も心掛けましょう。

牛乳の生産

出雲地区本部管内では22戸の酪農家が安全・安心・新鮮な牛乳生産に取り組んでいます。早朝から餌やり、牛舎の清掃、牛の体調チェック、搾乳などを行います。搾乳は朝と夕方の1日2回、ミルカー（搾乳機）を使って行います。搾乳前にはミルカーの殺菌・消毒、乳頭の清拭を行い、また乳頭の刺激、牛乳のチェックのために前搾りを行うなどの衛生管理をします。ミルカーによって搾られた牛乳は、パイプラインシステムにより保冷用のタンク（バルククーラー）に送られ冷却されます。

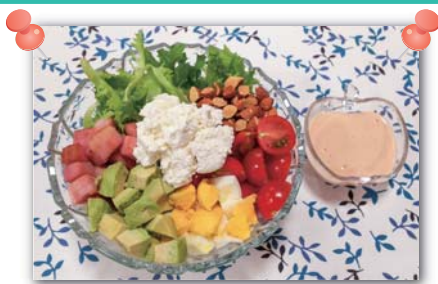
タンクで冷やされた牛乳は、島根中酪協のタンクローリーによって集乳され、工場へと運ばれます。

牛乳の製造

島根中酪協が取り扱う原料乳は、すべて地元で生産された生乳です。島根中酪協は、厚生労働省認可のHACCP承認工場で、新鮮な生乳を速やかにかつ、衛生的に処理をしています。こうして、地元で生産されたおいしい牛乳は、皆さんのお宅やラピタなどの小売店の店頭に並びます。

牛乳の美味しいレシピ

カッターチーズのサラダ



〈作り方〉

- ①鍋に牛乳を入れて、60～70℃に温める。（鍋肌に小さな泡がつつ出するくらい）
- ②火を消して、温めた牛乳に酢を入れ、すばやく混ぜ、少し置く。
- ③やや黄色がかった水分と豆腐のような白い塊に分離したら、ボウルに清潔なふきん（またはキッチンペーパー）をしいたザルをのせ、鍋の中のものを流し込み、水けを絞る。
- ④ふきんに残ったものがカッターチーズ、絞った液体がホエー（ホエーはミックスジュースで使う）。カッターチーズは小皿にとっておく。
- ⑤レタスは一口大にちぎり、アボカド・ベーコンは1cm角に、ミニトマトは縦半分切る。ゆで卵、アーモンドは粗く刻む。
- ⑥ドレッシングの材料を混ぜておく。
- ⑦ボウルに⑤をきれいに盛り、中央に④のカッターチーズを盛る。
- ⑧ドレッシングをかけて完成！

〈材料〉[2人分]

カッターチーズ
●牛乳 ……………500ml
●酢 ……………大さじ2

サラダ

●レタス類 ……………50g
●アボカド ……1/2個
●厚切ベーコン ……70g
●ミニトマト ……………9個

ドレッシング

●マヨネーズ ……………大さじ3
●トマトケチャップ ……大さじ1
●牛乳 ……………大さじ1
●レモン汁 ……………大さじ1/2
●塩、コショウ ……………少々

ミックスジュース



〈材料〉[3～4人分]

●トマト ……………1個
●オレンジ ……………1個
●レモン汁 ……小さじ1
●はちみつ ……大さじ1
●ホエー ……………200ml
●牛乳 ……………100ml

〈作り方〉

- ①ミキサーに全ての材料を入れて、攪拌する。
 - ②コップに注いで、完成！
- ※上記「カッターチーズのサラダ」のレシピの④でできたホエーを使用する。

ほっとで楽しいニュースが満載！

三地区本部の女性部が合同で研修 正組合員化を目指して

J Aしまね出雲・斐川・石見銀山女性部は6月12日、J Aしまね出雲地区本部会議室で三地区合同の研修会を開きました。日本農業新聞の児玉洋子論説委員が「女性のJ A参画と自己改革」と題して講演。J Aしまね女性部が三カ年計画（平成28年～平成30年）に掲げる「正組合員30%以上、総代15%以上、役員3人以上」の目標に向け、三地区本部の各女性支部長ら約80人がJ A参画への意識を高めました。

講演では、統計を用いながら、女性が農家経営に参画し、女性の視点を取り入れることで収益性も向上する傾向にあることを説明。地域振興やJ A運営にも引く張っていく女性の力が不可欠だと話しました。児玉論説委員は「ポジションが人を作るということもあります。地域の役職などにつく機会があったときは、尻込みせず、ぜひ積極的に向かっていったきたい」と呼びかけました。

講演後は女性のJ A参画に積極的に取り組んできた石見銀山女性部の事例報告も行われました。同地区本部の松浦係長が、女性部とJ Aが連携して個別訪問し、女性のJ A参画を推進してきた事例を報告。推進に関わった歴代女性部長や、現在J A運営に関わっている女性総代の声も紹介しました。



講演する児玉論説委員

J Aしまね出雲ぶどう部会 「デラウェア」品評会を開催

J Aしまね出雲ぶどう部会は6月16日、J Aしまね荒木支店会議室でぶどう品評会を開きました。検査員による一次選考を通過した2キロ箱（LL・L規格）32点を県や市、部会関係者ら13人が審査し、最優秀賞の出雲市長賞1点とJ Aしまね米穀園芸部長賞など優秀賞7点を決定。出雲市長賞には大社支部の矢田努さんが選ばれました。

品評会は島根ぶどうの品質および商品性の高位平準化を図り、生産振興と栽培農家の意欲向上を目的に毎年開催しています。着色や粒張り、房揃いなどを基準に審査を行いました。審査委員長を務めた島根県農業技術センター果樹技術普及課の安田雄治課長は「今年は天候に恵まれ、ぶどうを作るにあたって例年にないくらい条件が良い。出品されたぶどうもそれが表れた素晴らしい出来でした」と講評しました。受賞した8点は、6月17日、18日に島根ワイナリーで開かれた島根ぶどう祭りで展示されました。

他の受賞者は次の通りです。

- ▼ J Aしまね米穀園芸部長賞 出雲支部 今岡和宏さん
- ▼ J Aしまね出雲地区本部長賞 出雲支部 米山隆さん
- ▼ 出雲広域農業共済組合長賞 出雲支部 安達富治さん
- ▼ (株)島根ワイナリー社長賞 大社支部 金築勝利さん
- ▼ 島根県果樹同協会会長賞 大社支部 森山謙二さん
- ▼ J Aしまね出雲ぶどう部会長賞 出雲支部 福城弘志さん
- ▼ J Aしまね出雲ぶどう部会長賞 (STEP UP賞) 出雲支部 曾田英樹さん



着色、粒張りなどを確認する審査員

やすらぎ会総会開催 女性部と連携しより良い活動を

J Aしまね出雲やすらぎ会は6月21日、ラピタ本店で「第2回J Aしまね出雲やすらぎ会総会」を開きました。会員やJ A関係者ら約120人が参加しました。

総会では、平成28年度の活動報告や平成29年度の活動計画、組織体制などについて審議・承認されました。会員が高齢化し活動の停滞が懸念される今、密接な関係にあるJ Aしまね出雲女性部と連携を図るため、組織体制を旧市町村単位6地区から、同女性部と同じ5ブロック制に変更。ブロック間での情報共有、交流などにより、今後もJ Aの助け合い組織としてよりよい活動が展開できるよう努めます。

やすらぎ会の片伊勢妙子会長は冒頭のあいさつの中で「これからも支え合い・助け合いの心を持ち、住みよい地域づくりにご協力ください」と呼びかけました。総会後にはやすらぎ会松山支部の活動報告として、東部ブロック幹事長の長岡一子さんが、地域の交流の場として昨年立ち上げられた「にじの会」を紹介しました。松山地区の「虹が滝」が名前の由来で、J Aとも連携し、介護予防運動や家の光の読み語りなど、いろいろな活動をしています。健康運動指導士の藤岡桂子さんによる「レクリエーション実践研修」も行われ、体を動かしながらの楽しい講演に、会場は盛り上がりました。

やすらぎ会は、平成5年、J Aが取り組んできたホームヘルパー研修を修了した87人で結成されました。現在は会員約1,200名で地域でのミニデイサービスやボランティア活動、介護予防教室のスタッフなど様々な助け合い活動を行っています。昨年度は長年にわたる取り組みが評価され、島根県各種功労者表彰を受けました。



挨拶をする片伊勢会長

J Aしまね出雲しいたけ部会 第18回定期総会開催

J Aしまね出雲しいたけ部会は6月6日、出雲地区本部会議室で第18回定期総会を開きました。部会員、行政関係者、市場関係者、J A役職員ら約60人が出席し、平成28年度の事業報告、平成29年度の事業計画などを承認しました。

平成28年度は周年栽培の拡大により春夏栽培の出荷重量および販売金額が大幅に増加し、過去最高の販売金額3億5,747万円（前年対比101.7%）を計上しました。同部会ではJ Aしまね農業振興支援事業「生き生きプラン」の導入により周年栽培の体制強化に取り組んでいます。また、島根県が行う「きのこの里づくり事業」により施設等を整備したほか、同地区本部の業績還元助成で「サンマッシュくん」の着ぐるみを導入し販売促進も強化しました。

平成29年度は島根県の認証制度である「美味しまね認証」の団体認証取得に向けて、内容把握と取り組み強化を行います。定期総会に先駆けて開かれた支部総会では、J Aしまね出雲地区本部の担当者による講習が行われました。同部会の三島茂部会長は「今後認証取得も必要となってきます。出雲しいたけ部会が先進的に取得に向かっていきたい」と話しました。



定期総会を開催

日頃のご愛顧ありがとうございます！ 朝山支店で来店感謝デー実施

J Aしまね出雲地区本部朝山支店は6月15日、来店感謝デーを実施しました。端午の節句にちなみ笹巻き260本を用意し、日頃のご愛顧への感謝を込めて来店されたお客様にプレゼントしました。

毎月第3木曜日にJ A女性部朝山支部が開いている「朝山ふれあい市」に合わせて行ったもので、朝早くからたくさんのお客様にご来店いただきました。笹巻きも同支部で作ってもらったものです。来店されたお客様には笹巻きをお渡しするとともに、現在行っている金融商品のキャンペーンなどのお役立ち情報をご案内しました。

同支店の倉橋光浩ブロック長は「女性部の皆様のご協力のおかげでご来店のお客様に喜んでいただけました。これからも皆様のお役に立てるよう、情報を発信していきたいと思えます」と話しました。



来店されたお客様に笹巻きをプレゼント

J Aしまね出雲女性部中部地区 高瀬川沿いで清掃活動を実施

J Aしまね出雲女性部中部地区は6月26日、高瀬川周辺の清掃活動を行いました。昨年からの地域貢献と環境保全活動の一環として取り組んでいます。当日は女性部員27人が参加しました。

清掃したのは高瀬川沿いにある八雲神社周辺。ヘチマから作ったたわしで、橋桁や公園の石製ベンチなどを磨きました。たわしに使われたヘチマは昨年度女性部・J A役職員が一体となって取り組んだ「みどりのカーテン」の収穫物です。石鹸は廃食油から作ったものを使用し、環境にも配慮しました。ゴミや落ち葉なども拾い、約1時間の活動できれいな街づくりに貢献しました。

同女性部中部地区の錦織文子地区長は「昨年の清掃活動も、地域の皆さんによるこんでいただきました。誇りをもって活動してほしいと思います」と部員に呼びかけた。



橋桁をきれいに磨く女性部員

J Aしまね出雲メロン部会 アムスメロンの出荷始まる

J Aしまね出雲メロン部会が生産するアムスメロンの出荷が6月9日に始まりました。生産者1人が約70箱をJ A大社西部集荷所に出荷。今年は昨年より4日早い初出荷となりました。

今年は天候に恵まれ、品質の良い甘いメロンが出荷されています。収穫されたメロンは地元市場を中心に関西市場にも出荷。出雲のアムスメロンはネットの張りが良く、県内外から高い評価を得ています。7月下旬頃からはアールスメロンの出荷も始まる予定で、部会として今年度は年間販売高2,500万円を目指しています。



品質の高いメロンが出荷された

JAしまね出雲集落営農組織連絡協議会 第15回定期総会開催

JAしまね出雲集落営農組織連絡協議会は6月29日、JAしまね出雲地区本部で「第15回定期総会」を開催しました。

総会には、営農組合の代表者や関係者ら約100人が出席。平成28年度の事業報告・研修会・視察等の報告を行い、平成29年度も引き続き、持続可能な水田農業・農業経営していくために研修会の開催や後継者の育成などをすすめていくことを確認しました。総会終了後には、島根県東部農林振興センター出雲事務所の吉岡孝専門農業普及員が集落放牧について情報提供しました。また、近年注目されている農業ICT研修として、圃場管理をシステム化したアグリノートについて株式会社ドコモCS中国島根支店法人営業担当の中野莉沙氏より説明を受け、参加者全員で情報を共有しました。

同協議会の小村正会長は「平成30年問題など、農業を取り巻く環境は厳しく不安があるが、組織が手を携えながら一致団結して取り組んでいく必要がある」と意気込みを話しました。



総会であいさつする小村会長

国富小学校4年生 大豆の種まき体験

出雲市立国富小学校の4年生32人は6月20日、国富町の森山宏さんの農場で大豆の種まき体験を行いました。国富小学校では、地産地消について学ぶことや農業に触れ合うことを目的に毎年大豆の栽培をしています。

児童はJAしまね出雲地区本部職員から大豆の植え方の説明を受けた後、1列に並んで種まきをしました。植えた大豆は「タマホマレ」という品種です。JA職員、JAしまね出雲女性部国富支部の部員の指導のもと、児童は20センチ間隔で掘った穴に2、3粒ずつ丁寧に種を植えていきました。今後水やりなどの管理は森山さんが行います。種まきを終えた児童は「大豆の名前も覚えられて勉強になった。収穫が楽しみ」と笑顔で話しました。

大豆は11月に収穫し、児童と女性部で味噌に加工するほか、豆腐作りも計画しています。5年生になった時の調理実習で味噌汁にして味わう予定です。



女性部員の指導を受けながら種を植える児童

声を揃えて 「おおきくなあれ」 園児が「西浜いも」の苗植え体験

出雲市湖陵町の大山オーナー農園で、6月5日から9日にかけて管内特産のさつまいも「西浜いも」の苗植え体験が行われました。農園管理人の鎌田勉さんが食と農の大切さを学んでもらいたいと毎年実施しています。今年は市内6保育園・1幼稚園から約360人が参加し、17aの畑に約6,000本の「べにはるか」の苗を植え付けました。

鎌田さんから苗の植え方の説明を受けた園児らは「おおきくなあれ」と声を掛けながら熱心に苗を植え付けました。体験した園児は「楽しかった。たくさんできて嬉しい」と笑顔で話しました。10月下旬に園児らで収穫し、焼き芋や、芋を使ったクッキングなどに活用される予定です。

鎌田さんは「子どもたちがとても熱心に取り組んでくれました。体験を通して地域の特産である『西浜いも』のことを知ってもらい、普及にもつなげていきたい」と話しました。



「おおきくなあれ」と声を揃える園児

「食材の日」イベント 6月はぶどうをPR

JAしまね出雲地区本部は6月11日、出雲市大社町の三成卓夫さんのぶどうハウスでぶどう狩り体験を実施しました。

同地区本部では、地産地消の取り組みとして、月1回「食材の日」を設け、生産者・販売者・消費者一体となってJA管内の特産品をPRしています。6月は出荷ピークを迎える「デラウェア」を取り上げ、食育をテーマに、小学生以下の児童同伴でのぶどう狩り体験を企画。ラピタで2,000円以上お買い上げのお客様が応募でき、今回は約700件の応募者の中から当選された16組32人を1時間の食べ放題に無料で招待しました。

体験は2班に分かれ実施。収穫方法について説明を受けた後、それぞれがおいしそうなおぶどうを選んで収穫しました。参加者は「ぶどうが実っている様子を初めて見た」「家で食べるのとは違った楽しさがあった」と普段とは違う食べ方を楽しみました。



収穫を楽しむ親子

女性部高浜支部 笹巻きづくりで世代間交流

JＡしまね出雲女性部高浜支部は6月3日、JＡしまね高浜支店倉庫で笹巻き作りを行いました。季節の伝統行事を継承していこうと10年ほど前から開かれ、今年は親子合わせて約30人が参加しました。今年は棒を差した団子を笹で巻く地域伝統の笹巻きに加え、もち米を笹で三角に包む三角笹巻きにも挑戦。地域の行事などで三角笹巻きを作ることが多い同女性部稗原支部から同女性部長の高野智子さん、同女性部南部地区長の飯塚晴子さんを講師に招き、2時間半の活動で約150本の笹巻きと、約200個の三角笹巻きを作りました。

同女性部高浜支部の錦織文子支部長は「世代間交流ができるとても良い行事。これからも続けていきたいです」と話しました。



稗原支部の講師に習いながら三角笹巻きづくり

TAC活動の一環 大型特殊免許講習会開催

JＡしまね出雲地区本部は6月22日、23日の2日間、出雲市斐川町の全農生産資材部農業機械課島根農機事務所で大型特殊免許（農耕車限定）講習会を開きました。同事務所の藤原義人副審査役を講師に、市内の営農組合構成員、農家の従業員ら10人が公道での運転の仕方など、免許取得に必要なポイントを学びました。

この講習会は、TACの活動として、全農農機部門と連携し、平成21年から継続して実施しています。定年退職に伴う就農や農家の規模拡大に伴う従業員募集などで、大型特殊免許取得支援に対する要望が多く、近年は農耕車両の大型化により大型特殊免許が必要なケースも増えています。当日は交通ルールなどの講義を受けた後、敷地内で1人ずつ大型トラクターの運転を練習しました。受講者は「勤め先の方針で受けさせてもらいました。慣れも必要ですが、きちんとしたルールを身につけて農機を扱いたいです」と話しました。



乗車前に車両を確認する受講者

JＡしまねラピタ農産物直売会 試食宣伝で消費者と交流

JＡしまねラピタ農産物直売会は6月24日、ラピタ本店で消費者との交流イベントとして、加工品の試食宣伝を行いました。同会加工部会の役員9人が店頭に立ち、漬物を試食してもらうとともにレシピを紹介することで、直売会商品をPRしました。

同会では地産地消を推進するため例年消費者との交流イベントを行っています。以前は農家体験などを実施していましたが、新しい試みとして、昨年から同会加工部会が消費者と話をしながらの試食宣伝を行っています。カウンターを設置し多種類の漬物を並べ、来店される方に足を止めて交流してもらえよう工夫。今多く採れているきゅうりなどの簡単なレシピを紹介し、漬物だけではなく、その他の直売会商品にも目を向けてもらうよう促しました。

試食した人は「おいしい漬物が食べられて良かった。レシピがあるのは嬉しい」と話しました。



多種類の漬物を用意

産米改良功労者表彰 田中正文さんが受賞

第55回島根米品評会の表彰式が6月9日、松江市のサンラポーむらくもであり、平田町の田中正文さんが産米改良功労者として表彰されました。

田中さんは、平成10年から島根県水稻奨励品種決定現地調査の担当農家として試験圃を設置し、島根県及びJＡしまね出雲地区本部管内の産米改良に貢献しています。その功績により、平成13年には早生品種チドリの後継品種として数々の試験品種の中から、ハナエチゼンが奨励品種として採用されました。その後も様々な後継品種試験に協力しています。

また、出雲地区本部管内においても、以前から水稻関係の各種実証圃や肥料農薬展示圃などに積極的に取り組み、水稻肥料施肥設計、防除暦の見直しにも寄与しました。現在も島根県つや姫マイスターとして、つや姫の品質向上や栽培面積拡大に取り組んでいます。

受賞にあたり、田中さんは「長く取り組んできたことを表彰していただき光栄に思います。今後も継続して産米改良に協力していきたいと思えます」と話しました。



産米改良功労者として表彰された田中さん

おたより広場

読者のページ

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。
(匿名希望の方は明記してください)

あて先

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまね」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
unity@jaizumo.or.jp

●今年もぶどうの季節となりましたね。先日知人からデラウエアをいただき、今年も大好きなぶどうを食べることができました。ぶどう農家さんにとっては日々の世話、管理は大変なことだと思います。感謝しつつ、おいしいぶどうを食べたいです。農家さん、ありがとうございます!
(知井宮町 A・Yさん)

●大好きなぶどうが店頭に並び喜んで食べています。デラウエア、ピオーネ、シャインマスカット…これからず〜っと楽しみです!
(大社町 H・Hさん)

JA: 今年は天候に恵まれ良い出来だったとのことで、私も甘くておいしいデラウエアをたくさん食べることができました。生産者の皆さん、ありがとうございます! これからはピオーネなどの大粒系の

●今年も各地で子どもたちの田植え体験が行われました。米作りの大変さや、いろいろな生き物とのふれあいなど、多くのことが学べる本場に良い機会だと思います。身近でこういった体験ができる環境に感謝したいですね。

●「俳句の広場」コーナー、今回初めて気がつきました。月間最優秀賞が素朴で情景が浮かぶ作品で好感を持ちました。次号からも楽しみにしています!
(多久谷町 K・Tさん)

JA: 俳句は難しくて…という気持ちですが吹き飛ばすような、ほのぼのとした作品でしたね。今回も時流に

●最近、保育園や幼稚園、小学校で子どもたちの田植えを見かけたり、そのような写真を見たりします。都会ではなかなか経験することがないと思うので、大変良いことだと思っております。微笑ましいです。
(古志町 Y・Mさん)

ぶどうの季節です。引き続きJAしまねびよりの誌面でも盛り上げていきたいと思えます!



●いただきもののアムスメロンがあったので、JAしまねびよりの6月号で紹介されていた「ヨーグルトゼリーのメロンソース」を作ってみました。お手本とは少し違います。おいしく出来ました。レシピアりがとうございました。
(大社町 I・Yさん)

JA: 写真まで送っていただきありがとうございます! 大きめに切られたメロンがおいしそうですね。今年のアムスメロンも天候に恵まれ好調です。ぜひこの時期にご賞味ください。

【訂正とお詫び】

6月号のP12、「JAしまね出雲ぶどう部会 出雲農林高校へハウス貸与」の記事に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。
誤: 食品化学課 正: 食品科学科

8月限定

出雲緑結び 空港 札幌(新千歳) 直行便運航

2017年8月2日~8月30日 (月・水・金・日曜日運航)

出雲⇒札幌(新千歳)				札幌(新千歳)⇒出雲			
便名	機種	出発	到着	便名	機種	出発	到着
JAL3421	738	14:45	▶ 16:40	JAL3426	738	11:55	▶ 13:55

※週4便(月・水・金・日曜日)の運航になります。
※機種 / 738:ボーイング737-800(クラスJ:20席、普通席145席)
ダイヤ、運賃および航空券の予約・購入はJALのホームページをご覧になるか、コールセンターへお問合わせください。
■JALホームページ http://www.jal.co.jp コールセンター ☎0570-025-071(有料・ご利用時間7:00~20:00)

札幌へ行くなら、早めの予約が断然おトク!

出雲⇒札幌(新千歳)線の片道運賃例
2017年8月2日~8月30日(月・水・金・日曜日運航)ご搭乗分

先得 75日前までの予約で**オトク!** (ウルトラ先得) ▶ 9,800円~18,300円

28日前までの予約で**オトク!** (先得タイム) ▶ 15,000円~21,300円

「55日前までの予約」「45日前までの予約」の割引運賃もございます。
※販売座席数には限りがございます。 ※期間によっては設定のない場合がございます。
【掲載情報は2017年5月1日現在のものです。】

俳句の広場

選者
安食 彰彦先生

◆月間最優秀賞

梅雨晴れや連勝かかる勝負めし

下古志町 生田 綾子

選者評

かわいらしい中学三年の藤井四段。連勝はストップしましたが「勝負めし」に関心がありました。「梅雨晴れ」の季語が良くきいています。

◆月間優秀賞

児の言葉ときに詩となり濃あぢさゝり

佐田町 丹後 漁舟

初物の鮎に反身の化粧塩

佐田町 森山 敏子

さつき刈るほつと一息梅雨まじか

神門町 岩成 三重子

あなたの俳句を募集します

◆応募方法

俳句、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。
※お一人様3句までご応募いただけます。
※7月応募分の締め切りは7/31日(必着)です。

◆あて先

〒693-18585 出雲市今市町106-11
JALしまね出雲地区本部「俳句の広場」係
(FAX:2116249)

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JALしまね出雲地区本部に帰属するものとします。
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。
※受賞作品については地区名、氏名(または俳号)を掲載します。

ご優待 JALしまね統合三年 出雲地区本部 謝恩企画



小林幸子
コンサート

日時 平成29年 2日間1ステージ
10月18日(水)・19日(木)

場所 出雲市民会館
大ホール

【昼の部】開場13:00 開演13:30
【夜の部】開場17:30 開演18:00
【午前の部 ゆとり会】開場10:20 開演10:50
【午後の部】開場14:30 開演15:00

負担金：お一人様/1,000円

出雲地区本部にて年金振込口座をご指定
いただいている方のみご参加いただけます。

開催日	対象支店				
10月18日(水)	<table border="0"> <tr> <td>昼の部</td> <td>上津・四絡・高浜・川跡・平田中央・瀬分 国富・西田・平田東</td> <td>夜の部</td> <td>朝山・神原・佐田・多伎・湖陵・大社 荒木・遙垣</td> </tr> </table>	昼の部	上津・四絡・高浜・川跡・平田中央・瀬分 国富・西田・平田東	夜の部	朝山・神原・佐田・多伎・湖陵・大社 荒木・遙垣
昼の部	上津・四絡・高浜・川跡・平田中央・瀬分 国富・西田・平田東	夜の部	朝山・神原・佐田・多伎・湖陵・大社 荒木・遙垣		
10月19日(木)	<table border="0"> <tr> <td>午前の部</td> <td>ゆとり会</td> <td>午後の部</td> <td>高松・荒茅・園・神西・神戸川・大津・塩治 出雲・今市・出雲市役所・有原</td> </tr> </table>	午前の部	ゆとり会	午後の部	高松・荒茅・園・神西・神戸川・大津・塩治 出雲・今市・出雲市役所・有原
午前の部	ゆとり会	午後の部	高松・荒茅・園・神西・神戸川・大津・塩治 出雲・今市・出雲市役所・有原		

※出雲地区以外の地区には、送迎バスをご用意しております。※自家用車でご来場の際は、駐車場に限りがありますのでご了承願います。
※参加者多数の場合には、日程を変更する場合があります。また、ご希望にそえない場合もありますのでご了承願います。
※会場の都合により、お食事(お弁当)の準備はしていません。

JALしまね 出雲地区本部 年金日帰り旅行

新春 ~初詣最上稲荷と冬の味覚~
岡山日生の牡蠣尽くし

旅行実施日
西部ブロック 平成30年 1月24日(水)
河南ブロック 平成30年 1月25日(木)
南部ブロック 平成30年 1月30日(火)
中部ブロック 平成30年 1月31日(水)
東部ブロック 平成30年 2月1日(木)

旅行代金 **13,500円**

※旅行代金には税別サービス料が含まれております。
出雲地区本部にて年金振込口座をご指定
いただいている方のみご参加いただけます。

JALしまね 出雲地区本部 年金受給者一泊旅行

西の比叡山紅葉の圓教寺と
名湯有馬温泉/月光園に泊まる
神戸観光

旅行実施日
平成29年 11月22日(水)~23日(木・祝)

旅行代金 **39,800円**

※旅行代金には税別サービス料が含まれております。
4名様1室利用
(各名室利用の場合、1人あたり9,900円プラス)
(2名様1室利用の場合は、1人あたり9,000円プラス)

出雲地区本部にて年金振込口座をご指定
いただいている方のみご参加いただけます。



出雲市湖陵町
もり やま たい ぞう
森山 泰蔵さん (80歳)
し ほ こ
志保子さん (75歳)



湖陵町で農業を営む森山さんご夫婦。40アールの田んぼで水稲栽培を行うほか、10アールの畑でトマトやきゅうり、なす、かぼちゃなど、季節のいろいろな野菜を栽培しています。また、新聞で見た二千年ハスに感動し10アールでハスを育て始めました。レンコン苗を手に入れるのに浜田まで足を運んだそうです。志保さんは「きれいなハス畑にするのが夢です」と楽しそうに話します。

泰蔵さんは、長く農協に勤務し、その後商工会の事務局長や農協の理事を務め地域のために尽力してこられました。志保さんは泰蔵さんが仕事に忙しい間、家を守ることを一番に考え、農業に従事するとともに、家計を管理してきました。家の光家計簿を何十年も前から活用し、丁寧につけられた家計簿は表彰されたこともあるそうです。

泰蔵さんの趣味はテレビで相撲や野球を見ること。また、県外に住むお孫さんたちがおられ「帰ってきたときに一緒にお酒を飲むのが何よりの楽しみです」と話します。志保さんの趣味は太極拳やコーラスなど多岐です。家の光を活用した活動をするグループ「東三部JA女性部」にも所属し、積極的に活動しています。

お互いが主導権を持って同志としてやってきたというお二人。「お互いの言い分を聞き、キャッチボールができたのが良かったと思います。どちらかが暴投してもしっかり受け止めてきました」と笑顔で話す仲の良いご夫婦です。



Smile
さらりスマイル

市内の幼稚園に勤務する原咲子さん。大学での実習を経て、幼稚園で働きたいと思うようになりました。大学を卒業し、幼稚園の先生になったのが今年の4月。「慣れない仕事で毎日があっという間です」と話します。

咲さんは担任の先生の補助として年中のクラスを担当し、主に1対1の個別対応で園児と関わっています。ほめるときも叱るときも、言葉だけではなく表情なども使って、「良いこと」と「悪いこと」がちゃんと伝わるよう心がけています。また、園児たちの成長していく姿に、仕事へのやりがいを感じるという咲子さん。「新しいことができるようになったとき、『できた!』と教えてくれるのが嬉しいです」と話します。

咲さんの特技は空手。小学生のときに始め、昨年まではずっと大会にも参加していました。今でも月曜の夜にはさんびーの出雲に出かけ、子どもたちに空手の指導をしています。

今後の目標を尋ねると「園児たちにできるだけいろんな経験をさせてあげたいです。その援助をすることで、自分も一緒に成長できたら嬉しいです」と話す咲子さん。園児みんなのことを考えて仕事に取り組んでいます。

出雲市湖山町

原

咲子さん (22歳)



6月講座「暮らしまわり、キッチンとスッキリ! 整理収納講座」

JAしまね出雲地区本部は6月13日、いずもJA女子大学6月講座「住まいも私も整えよう!整理収納講座」を開きました。インテリアコーディネーターの谷本恵美さんを講師に招き、女子大学生8人と聴講生1人が参加。“すっきりした暮らし”を目指してモノの片付け方、しまい方を学びました。

谷本さんは女子大学生に「どんな暮らしがしたいですか?」と問いかけ、片づけをすることで持っている理想の暮らしをイメージすることが大切だと伝えました。片付けの「在り方」を学んだ後は「やり方」の学習です。指導を受けながら自分のカバンの中身を実際に整理したほか、冷蔵庫の引き出しに見立てた段ボー

ル箱を使い、収納方法を実践しながら学びました。冷蔵庫については班ごとに収納のポイントを発表。女子大学生は、自分のやり方を自信を持って説明するとともに、他の家庭のやり方を真剣な様子で聞いていました。



女子大学生は「片付けは苦手でしたが、今日の講座を生かして取り組んでいきたい」と話しました。

わが家の
アイドル
わが家自慢の
アイドルをご紹介します!



わたなべ りょう が
渡部 凌駕くん(6歳・左)
みらい
未来ちゃん(2歳・右)

出雲市平田町

小学1年生の凌駕くん。未来ちゃんといっしょになると自分が譲って仲直りする優しいお兄ちゃんです。野球がやりたいくて、4月からスポーツ少年団に入団しました。スイミングも習っています。家ではモノを作るのが好きで、折り紙をしたり、工作をしたりしています。とても上手に描けた日本地図も見せてくれました。未来ちゃんはお手伝いもしてくれるしっかりものの女の子。気がついたことがあるとお兄ちゃんに注意してあげたりもします。カルタ遊びが好きで、おじいちゃん、おばあちゃんによく遊んでもらっています。

6月には凌駕くんの入っているスポーツ少年団のみんなでバーベキューをしました。未来ちゃんも一緒に参加。いつも一緒に仲良しきょうだいです!

おとうさん、おかあさんからの一言

いつも2人からは元気をもらっています。これからも仲良く元気に大きくなってね。

J Aしまね出雲女性部

グループ紹介

きづき支部「ひめゆり会」

J Aしまね出雲女性部きづき支部の「ひめゆり会」は毎月第1、第3の火曜日に集まり、大社コミュニティセンターで「南京玉すだれ」に取り組んでいます。15年ほど前に結成され、現在9人のメンバーで活動しています。

「南京玉すだれ」は、唄に合わせて竹製の「すだれ」をいろいろなものに變化させていく伝統芸能です。「すだれ」は伸び縮みするような仕組みになっていますが、見た目以上に難しく、初心者では伸ばして戻すだけでも一苦労。ベテランのメンバーが新しく入ってきた人にやり方を教え、技術を伝承しています。また、地元の祭りなど、いろいろな場所での練習の成果を披露しています。演技のときに身に着ける衣装は、メンバ

ーによる手作り。華やかな衣装と演技で、各種イベントを盛り上げています。昨年はJ A出雲地区本部の農業祭りにも出演しました。

これからも活動を通して地域の皆さんに楽しんでもらうとともに、仲間の輪を広げて楽しく活動していきま



代表 藤井 晃代 さん

藤井代表より一言

私たち「ひめゆり会」は和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動しています。南京玉すだれは体や指先を動かすので健康にもよく、いろいろな技を覚えるのは頭の体操にもなります。仲間の輪も広げていきたいと思っていますので、興味をもたれた方ぜひ一緒に活動しましょう!

大社支店 三上支店長からのメッセージ

きづき支部女性部の皆さんは、支部活動をとても活発に行っていると感じております。「ひめゆり会」の皆さんには、7月29日開催の大社支店納涼祭に出演していただく予定です。大変お世話になります。私も練習会に参加して「南京玉すだれ」を体験させていただきましたが、なかなかコツがつかめず苦労しました。グループの皆さんは上手に「すだれ」を操られ、華やかな演技に圧倒されました。納涼祭では練習の成果を発揮していただき、祭りを盛り上げていただきますようお願いいたします。

平成29年7月18日必から コンビニ交付サービスが始まります

マイナンバーカード(個人番号カード)を利用して、全国のコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機で各種証明書が取得できます。画面の案内に従ってタッチパネルを操作するだけの簡単な操作で、申請書の記入も不要です。

市役所の開庁時間に窓口に来られない場合や、出雲市外への出張等で急に証明書が必要になった場合など、手軽に証明書が取得できる便利なサービスです。

取得できる証明書

- 住民票の写し(本人・同一世帯分)
- 印鑑登録証明書(印鑑登録されている本人分)
- 所得(課税)証明書(本人の最新年度分)

取得できる店舗

- ファミリーマートなどのコンビニエンスストア
出雲市内の店舗だけでなく、
全国の約5万3千店舗で取得が可能です。



利用時間

- 午前6時30分～午後11時
(土日祝日も可能、年末年始を除く)

発行手数料

- 1件/300円

マイナンバーカードを申請しましょう!

お問い合わせ先 出雲市役所市民課 ☎(0853)21-2315

農業用廃棄ビニール・プラスチック類の収集についてのお知らせ

下記の収集処分計画表の通り、農業用廃棄ビニール・プラスチック類の収集を行います。持ち込みを希望される方は、「委任状」・「産業廃棄物運搬車表示」が必要となりますので、最寄りの各営農センターまで取りに行ってくださいようよろしくお願いいたします。尚、「産業廃棄物運搬車表示」は紙に手書きしたものでもかまいませんが、マグネットシートの掲示板をグリーンセンターにおいて2枚1組1,296円(税込)で販売しておりますので、ご購入ください。

1. 収集処分計画表

地区名	収集場所	収集日	収集時間
桧山・久多美・灘分・平田	平田カントリー	7月26日(水)	午前9時～11時
伊野・平田東・西田・国富			午後1時～3時
神西・神戸川・湖陵・多伎	西部カントリー	8月1日(火)	午前9時～11時
高松・荒茅・園・大社・遙堪・荒木	西部カントリー	8月2日(水)	午前9時～11時
乙立・朝山・稗原・佐田 上津・大津・塩冶・今市 四絡・高浜・川跡・鳶巣	西部カントリー	8月4日(金)	午前9時～11時

- 2. 集荷対象** 被覆資材(ビニール・農ポリ)・ハウス資材(マイカー線・パッカー・寒冷沙・タイベック)・
 灌水チューブ・肥料袋・ビニールマルチ・育苗箱・波板
 ※砂、土、油は落として出荷する。種類毎に、20～30kg程度に結束し搬入ください。
 パッカーの金具は外してください。

持込不可の物

- ※農業の容器や空袋、紙(ダンボール箱等)
- ※トンネル支柱・イボ竹等鉄にビニールコーティングしてある物
- ※塩ビパイプ管 ※金属類

3. 処理料金・代金決済

料 金: kg当たり 税込み 25円
 代金決済: 営農口座より 平成29年9月25日引き落とし

※ご不明な点がございましたら生産資材課・各営農センターへご連絡ください。

生産資材課 ☎21-6047 中部営農センター ☎31-9055 西部営農センター ☎53-2168
 河南営農センター ☎43-7007 南部営農センター ☎84-0213 東部営農センター ☎62-9059

平成30年度 介護・看護・作業療法士職員採用募集

JAいずも福祉会(みどりの郷4施設)では、平成30年度4月採用職員の募集を行います。詳しくはJAいずも福祉会事務局(JAしまね出雲地区本部 ふれあい福祉課内)までお問い合わせ下さい。



- 採用予定人数／介護職員・看護職員・作業療法士各若干名
- 応募資格／協同の精神のもとに、福祉活動を通じて、生きがいのある安心して暮らせる地域づくりのために活躍しようとする人で、次に該当する方。
 - ①大学を卒業または卒業見込の方。
短大、専修学校を卒業または卒業見込の方
 - ②介護職員は、介護福祉士の資格を取得見込又は資格を有する方。
看護職員は、看護師、准看護師資格いずれかの資格を取得見込又は資格を有する方。
作業療法士は、作業療法士の資格を取得見込又は資格を有する方。
- 提出書類／自筆履歴書(写真貼付)、卒業見込証明書 ※応募書類は返却いたしません。
- 書類締切日／平成29年9月1日(金)
- 書類提出先／JAいずも福祉会 本部事務局 〒693-8585 出雲市今市町106番地1
- 選考方法／①筆記試験:小論文
②面接試験:書類選考および面接試験
- 試験期日／①筆記試験:平成29年9月16日(土)の予定
②面接試験:別途通知または当日実施

健康ライフかわら版

肥満に注意しよう

皆さんは、ご自身の体重やお腹まわりに注意していますか？
「肥満」とは、単に見た目が太っていることではなく、体に脂肪が過剰に蓄積された状態のことをいいます。目安となるのが、Body Mass Index (BMI、体格指数)とお腹まわり(腹囲)です。

【BMIの計算】 体重kg÷(身長m×身長m)

BMI	肥満度判定
18.5未満	低体重(やせ)
18.5~25未満	普通体重
25以上	肥満

【腹囲の測定】

自然に立ち、おへその高さで水平に計測。
お腹に力を入れず、普通に呼吸し吐き出したところで目盛を読みます。



<基準値> 男性/85cm未満 女性/90cm未満

肥満がなぜいけないのか？

BMIが25を超えると、「糖尿病」などの発症率が急激に高まります。

これは、日本人が遺伝的に、欧米人に比べて、血糖値を下げる「インスリン」の分泌能力が低く、糖尿病にかかりやすいことに関係しています。

また、肥満は、「糖尿病」だけでなく、「高血圧」や「脂質異常症」のリスクも高めます。

そして、肥満を放置していると、これらの生活習慣病が進行し、やがて血管が傷ついて弾力を失い、「動脈硬化」を引き起こすのです。

肥満を
予防する
には？

★食生活を見直す

- ①夜間に食べ過ぎないようにする
- ②1日3食、規則正しく食べる
- ③ゆっくりよく噛んで、食事に時間をかける
- ④栄養の偏りなく、バランス良く食べる
- ⑤アルコールは適量に

★運動習慣・日常活動を見直す

普段からエレベーターを使わない、ちょっとした距離は乗り物に乗らずに歩くなど、特別な運動の時間を設けずとも、日常動作の積み重ねで肥満改善効果も望めます。

お問い合わせ先 出雲保健所健康増進課 ☎21-8785

理事会情報 (5月30日開催)

監査報告

平成28年度決算監事監査報告について

協議事項

- ①平成29年度国庫及び県単補助事業の実施について(追加)
- ②大口貸出金の承認について
- ③体制整備基準における「効率化店舗」の設置・運営に係る要項設定について
- ④島根県常例検査書の回答について
- ⑤JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
- ⑥組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑦経理規程の一部改正について
- ⑧平成28年度決算の承認について
- ⑨第3回通常総代会への附議議案について
- ⑩本店子会社等の役員への役員職員の推薦について

- プロジェクト)の取組みについて
- ⑦米穀園芸情勢について
- ⑧第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑨島根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑩雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑪第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑫JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑬畜産情勢について
- ⑭平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑮生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑯第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑰金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑱平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ⑲平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ⑳組合と理事との取引(契約)の報告について

報告事項

- ①平成28年度農業戦略実践3カ年営農計画進捗状況について
- ②ふるい目更新に伴う県単事業・JA支援事業の活用について
- ③農業経営管理支援事業(経営コンサル)の平成28年度総括および平成29年度実施計画について
- ④県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第4四半期)
- ⑤農業防災保険の加入状況について
- ⑥平成29年度島根米食味向上(特A獲得重点

- ⑲平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ⑳組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉑事務ミス報告について
- ㉒自主検査実施報告について
- ㉓コンプライアンス実践状況について
- ㉔平成28年度における統合メリットについて
- ㉕平成28年度地区本部別損益について
- ㉖平成29年4月主要実績について
- ㉗子会社等の現況一覧について
- ㉘島根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉙第3回通常総代会当日の対応について
- ㉚平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉛監査(第4四半期)報告書について
- ㉜平成28年度業務活動報告書について
- その他① 島根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- その他② 農政をめぐる情勢について
- その他③ 青年・女性理事 活動報告等

知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAは何をしている協同組合なの?

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにする事で、地域の活性化に貢献しています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

JAが行っている主な事業

指導事業



農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに出向き、おいしくて安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。

販売事業



農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大事なことです。

購買事業



質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。

信用事業



組合員からお金を預かり(貯金)、それぞれの組合員が必要なときに、借りることができる(貸付)ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。

共済事業



組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域のみらい。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ 駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先
最寄りのJA各支店・
支所にお問い合わせ
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

株式会社 **コダマサイエンス**

■本社/島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所/☎0852-26-6757 ■江津営業所/☎0855-52-6852

■益田営業所/☎0856-22-5390 ■隠岐営業所/☎08512-2-2471

そなえていますか?

クミアイのおくすり



かぜ、胃腸の不調、小さなケガや
軽い症状は自分で治しましょう。

それが、セルフメディケーションです。

(自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること)



「クミアイ家庭薬」のメリット

- 使った分だけ後払い、家計にやさしく経済的!
- 期限の切れそうな薬も、無料でお取り替え
- 季節やご家族のニーズに合わせて補充
- 災害など緊急時にも安心の常備薬!
- クミアイ家庭薬で「明日はもっと健康に」



A-COOP **クミアイ家庭薬**

お問
い合
わせ
先

JAしまねの各支店 または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430



地域とともに
 **ラピタ**
 組合員の皆様へ

心をこめたおもてなし

ラピタのお中元

ふるさとのなつかしい 島根の味 を届けます。

2017 LAPITA SUMMER GIFT

セール期間 8月16日(水)まで



ゆうパック県内特別送料 (税込)		ゆうパック県外特別送料 (8月16日(水)まで承り分) (税込)	
出雲市内 7月25日(火)まで 無料 7月26日(水)~8月16日(水) 210円	県内(隠岐含む) 7月25日(火)まで 無料 7月26日(水)~8月16日(水) 300円	中国 470円 九州・関西 600円 四国 600円 中部・北陸 700円	関東・信越 800円 東北 900円 北海道 1,285円 沖縄 1,185円

酒・ギフトコーナー お中元特別企画

7月16日・22日・29日 8月6日

5 倍ポイントセール

※ギフト商品・酒商品限定。商品券などの一部対象外商品がございます。

※お中元特別運賃は2,500円(税込)以上のギフト商品をお買い上げいただいた方が対象です。※一部除外品もございます。
 ※[2-4]：別途クール代金が必要になります。※こちらの運賃は日本郵便のご利用に限らせていただきます。
 ※一部商品は、メーカー送料がかかる場合がございます。

ラピタ短期 アルバイト募集!!


まずはお気軽にお電話ください。皆様のご応募お待ちしております。

募集内容

- 場所 / ラピタ各店
- 仕事内容 / 各部門での商品加工・品出し・レジ業務など
- 期間 / 8月上旬から下旬までの5~20日間程度 (各部門・業務により異なります)

- 時給 / 一般・大学生他.....750円
高校生.....730円
- 応募方法 / 各店サービスカウンターへご応募またはお電話にて

(0853)21-6060 採用担当まで



旬の味

二十世紀梨

全国発送承ります

送料 全国一律 1箱

300円 (税込)

※ラピタにてご注文された梨(進物用)に限らせていただきます。
 ※お届けの期日は指定できませんのでご了承ください。
 ※クロネコヤマトでの発送となります。

お届け期間	8月下旬頃～ 9月下旬頃	承り期間	ご注文日	8月19日(土)ごろまで	8月20日(日)～初出荷まで	9月1日(金)以降
			お届け目安	初出荷より 随時発送	9月5日(火)頃の 発送	9月10日(日)前後の 発送

※承り順に発送して参りますが、産地での梨の生育状況、サイズ、重量により発送が前後する場合があります。(期日の指定はできませんのでご了承ください。)

お申し込みはラピタ本店・各店で

SUMMER PLAN 2017

フリードリンク
 〈期間〉平成29年9月30日(土)まで

プラン内容

- ★乾杯用ドリンク(ワイン又は日本酒)
- ★飲み放題/乾杯より2時間
- ★会場費・サービス料込み
- ★飲み放題(メニュー)
- ビール ●ノンアルコールビール
- 日本酒(熱燗) ●焼酎
- ジュース ●ウーロン茶

プラス 200円で飲み物グレードアップ

- ワイン(赤・白) ●梅酒 ●カクテル ●ノンアルコール

オードブル 税込価格 **6,000円/1名**

バイキング 税込価格 **5,500円/1名**
 30名様以上に承ります

※写真はイメージです。
 ・人数変更は、前日の午前中までとさせていただきます。・プランに含まない物には、全て別途サービス料10%を申し受けます。・21:00を越える場合は、別途延長料金を申し受けます。・無料送迎バスは、ご乗車15名様～25名様で先着順に承ります。(送迎範囲は出雲市内で出発・到着、それぞれ1ヶ所にてお願い致します。)

お問合せ 予約 TEL (0853) 21-6063

大ナミンC

仮面ライダーエグゼイドショー



©2016 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

予告

7月30日(日) 入場無料

■開催時間 / 11:00～ 14:00～〈2回公演〉
 ■開催場所 / 本店1階センターコート

しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

きゅうりと鶏むね肉の中華風



電子レンジを使いサツとできあがります。暑い夏に酢とごま油であっさりした味なので、いくらでもキュウリがおいしく食べられる一品です。きゅうりは、ほてった体を冷やしてくれます。

●材料 (4人分)

鶏むね肉	1枚 (約300g)	醤油	大さじ1
塩、こしょう	適量	酢	大さじ1
酒	大さじ1	ごま油	大さじ2/3
きゅうり	2本	黒ごま	大さじ1

●作り方

- ①きゅうりは3~4等分に切り、縦に4等分の棒状に切り、塩を少し置き、水洗いして水気を絞る。
- ②鶏肉に塩、こしょう、酒をふりラップをしてレンジに5~6分かける。火が通ったら手で一口大にさく。
- ③ボールに調味料を合わせ、鶏肉を混ぜ込み味をなじませてから、きゅうりを入れ和える。

トマトつけだれ・そうめん



トマト入りのそうめんつゆなので、色が綺麗でトマトの旨みも加わり、そうめんがいくらでも食べられます。洋風イメージのあるトマトを、和風でさっぱりといただける涼麺メニューです。

●材料 (4人分)

そうめん	6~8束	トマト	中4個
きゅうり	少々	水	400ml
薬味		ほんだし	小さじ1
大葉	5枚	みりん	大さじ4
みょうが	2~3個	しょうゆ	大さじ3
おろししょうが	少々	塩	小さじ1
白ごま	少々		

●作り方

- ①トマトは皮を湯むきして種を取り1cm角に切る。
- ②水、ほんだし、しょうゆ、みりん、塩を沸騰させ火を切り冷ます。
- ③冷えたらトマトを入れ冷蔵庫に入れ冷やす。
- ④きゅうりは千切りにする。
- ⑤みょうが、大葉は千切りにして薬味にする。
- ⑥そうめんをゆで、皿に盛りキュウリを添える。
- ⑦薬味とトマトダレをつけて食べる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、島根県西部を流れる高津川の鮎釣りの様子です。高津川は、水質日本一に何度も選ばれている全国屈指の清流で、日本で唯一ダムが無い一級河川としても有名です。また、高津川の鮎は薫り高く美味で人気があり、シーズンには全国から釣り人が訪れます。

編集後記

今月の表紙に描いて頂いた鮎釣り。私の父も昔から鮎釣りをしており、子供の頃からいつも食べさせてもらっていました。塩焼きや背ごし(刺身)、鮎ご飯など、とても美味しいですね。私も一度だけ友釣りに挑戦しましたが、難しいものでした。(藤)



【今月の表紙の原画】
原画の全体は次のとおりです。